

母性看護学の紹介

母性看護学では、女性やその家族の生涯にわたるリプロダクティブ・ヘルス(性と生殖の健康)と看護を学びます。そして、妊産褥婦や出産後の母子とその家族を対象とした女性のセルフケア向上や新たな家族形成に向けた看護に必要な知識や技術を、講義、演習、臨地実習を通して学び、母性看護学が担う社会的役割について考察を深めます。



看護学生さんの様子 —演習風景—



赤ちゃんの心臓の音、聞こえるかな？



赤ちゃんがどこにいるかわかるかな？



褥婦さんの経過は順調かな？



だっこはできるかな？



新生児の観察をしてみましょう♪



寒くならないように手早く着せよう！



教員・研究活動の紹介



母性看護学・助産学教育研究分野では母子や女性の健康支援、女性のセクシュアリティ、思春期のリプロダクティブヘルス(性と生殖の健康)教育、挙児を希望する女性への支援、出産体験や子育てに関する支援、周産期に子どもをなくした家族へのケア等をテーマに、各教員が研究を行い、看護学や地域に貢献するために取り組んでいます。

